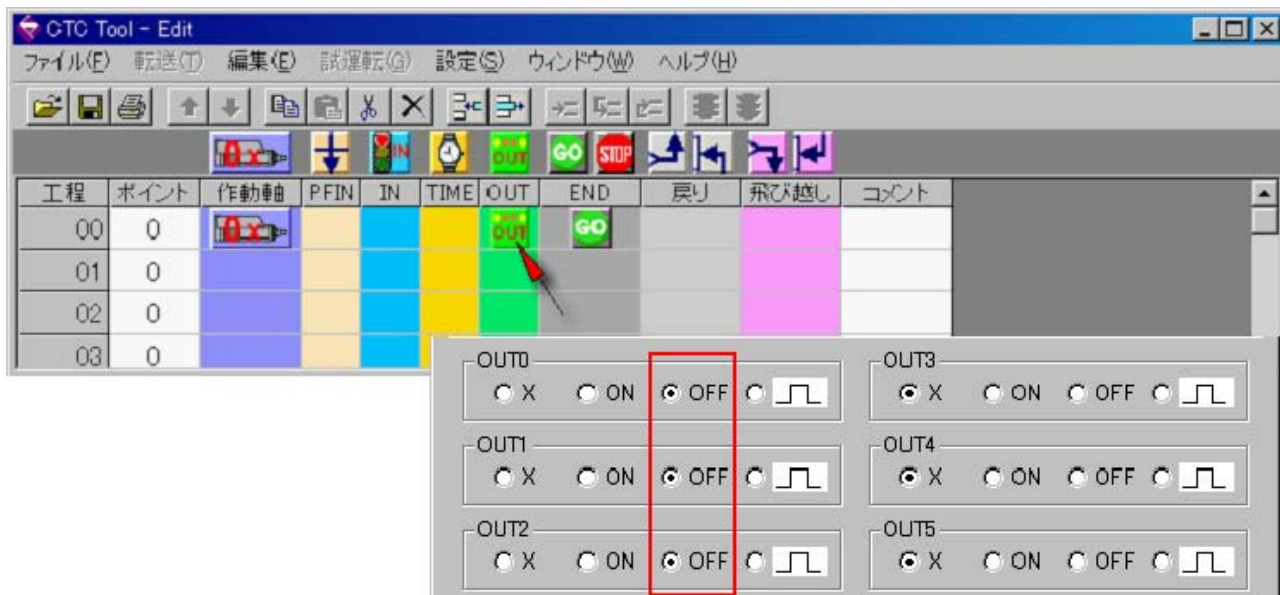


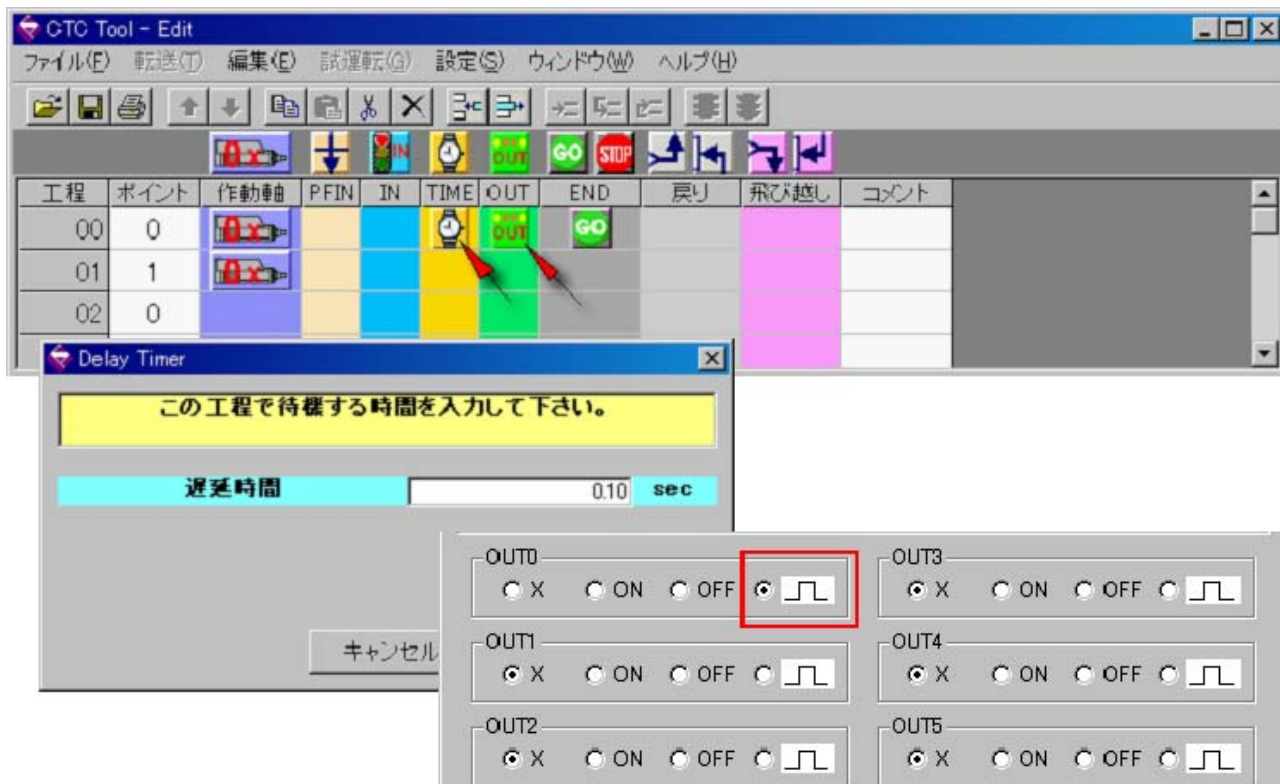
外部出力条件のプログラミング方法を解説します

1. プログラム例を参考にして、解説します

下のプログラムは、【 0軸 の メカシリンダ／サーボモータ 】が【 ポイント番号0 】へ **移動後**、外部への出力信号【 OUT0、OUT1、OUT2 】を OFF するプログラムです。



下のプログラムは、【 0軸 の メカシリンダ／サーボモータ 】が【 ポイント番号0 】へ**移動後**、外部へ出力信号【 OUT0 】を0.1 秒間 オン、その後【 ポイント番号1 】への 移動指令するプログラムです。



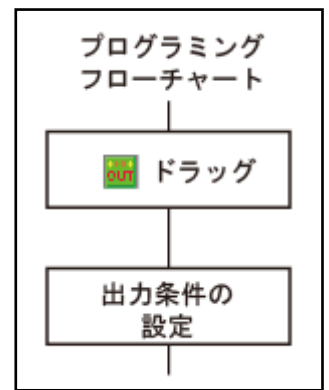
CTC ツールのプログラミング方法

2. プログラミングの解説です

出力条件設定アイコン をドラッグ・アンド・ドロップして現れる【出力条件設定ダイアログ(下図参照)】で、出力条件を設定します。

【OUT0】～【OUT5】の出力条件を選択・クリックすれば出力条件として設定されます。

パルス波形出力を選択すれば、遅延タイマーで設定した時間だけ ON 信号を出力することが可能です。



出力条件	内容
<input checked="" type="radio"/> X	選択した出力端子の出力信号は変化しません
<input checked="" type="radio"/> ON	選択した出力端子を【ON】にして、次工程に進みます
<input checked="" type="radio"/> OFF	選択した出力端子を【OFF】にして、次工程に進みます
<input checked="" type="radio"/>	選択した出力端子から、すぐ前の遅延タイマーで設定した時間だけ【ON】信号を出力し、次工程に進みます。

複数の条件を指定した場合は、その設定した全ての条件を実行します。

出力条件設定ダイアログ

この工程で出力する出力信号の状態を選択して下さい。

X が選択されている出力は、変化しません。

ON が選択されている出力は、この工程の終了時にONになります。

OFF が選択されている出力は、この工程の終了時にOFFになります。

が選択されている出力は、遅延タイマーの設定時間中ONとなり、その後OFFになります。

OUT0: X ON OFF

OUT1: X ON OFF

OUT2: X ON OFF

OUT3: X ON OFF

OUT4: X ON OFF

OUT5: X ON OFF

コメント(説明)を見る

拡張基板側のI/O設定

OK

キャンセル

CTC ツールのプログラミング方法

プログラム終了後でも、出力された信号は状態を維持しますので注意して下さい。

プログラム終了時、出力状態を変更したい場合は、プログラム終了前までの工程で 設定して下さい。

SQSTP 信号によりプログラムを強制停止させた場合でも、出力された信号は状態を維持します。

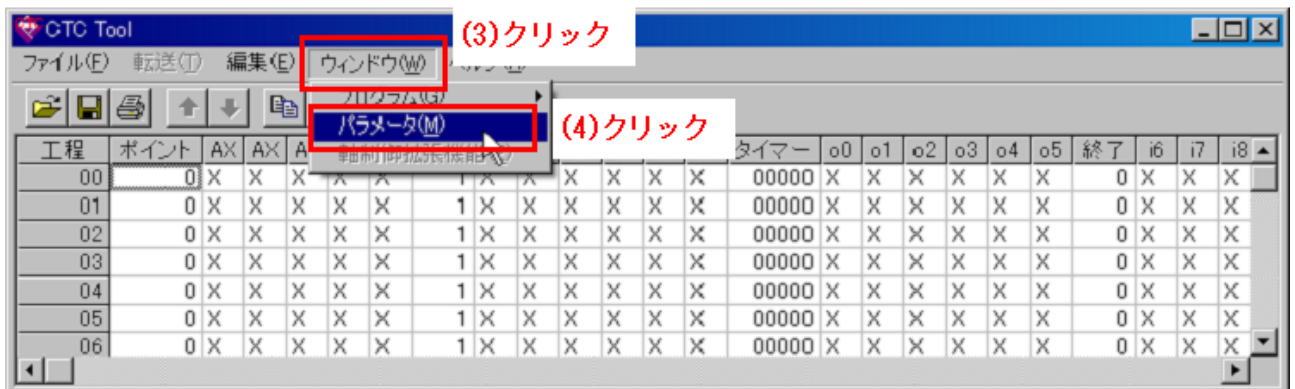
SQSTP 信号によりプログラムを強制停止させた時に、全出力信号を全て【 OFF 】に設定することも可能です。

以下、その方法を解説します

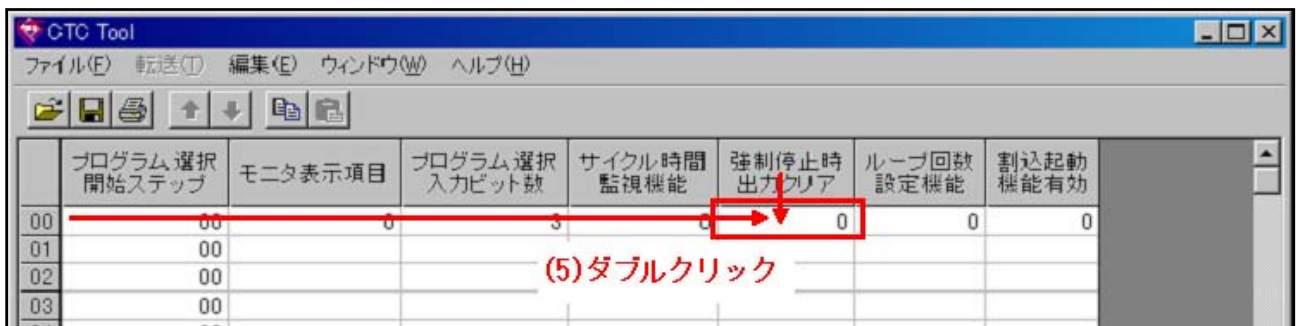
- (1)【 ウィンドウ 】メニュー を クリック して下さい
- (2)【 エキスパートモード 】メニュー を クリック して下さい



- (3)新たな画面で、再度【 ウィンドウ 】メニュー を クリック して下さい
- (4)【 パラメータ 】メニュー を クリック して下さい



- (5)新たな画面で、「強制停止時出力クリア」欄 の設定するプログラム番号の行を ダブルクリック して下さい。 下の例は、プログラム0 (IN0=IN1=IN2=IN3=OFF で設定) の設定の場合です。



CTC ツールのプログラミング方法

(6) 【 ▼ 】 を クリック して下さい

(7)【1. SQSTP 時出力全 OFF 有効】メニュー を クリック して下さい

(8)関係ない場所を【 クリック 】して下さい。



(9) 【 ウィンドウ 】メニュー を クリック して下さい

(10)【プログラム】メニュー ⇒ 【簡単モード】メニュー を クリック して下さい。

最初のプログラミング画面に戻ります。

プログラムをコントローラにダウンロードしてから有効になります。

